



ヘルスケアの進化をデザインする

東京六稜倶楽部 講演会

2023年7月19日

シスメックス株式会社 代表取締役会長 グループCEO

家次 恒

Together for a better
healthcare journey

Index

- 1 自己紹介
- 2 シスメックスの紹介
- 3 大切にしてきたこと
- 4 更なる挑戦
- 5 最後に

1

自己紹介



- 1968年3月 大阪府立北野高等学校卒業（80期）
- 1973年3月 京都大学経済学部卒業
- 1973年4月 株式会社三和銀行（現 三菱UFJ銀行）入行
- 1986年9月 東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）入社、取締役
- 1990年3月 常務取締役
- 1996年4月 専務取締役（代表取締役）
- 1996年6月 代表取締役社長
- 2001年11月 神戸商工会議所 副会頭
- 2013年4月 代表取締役会長兼社長
- 2016年11月 神戸商工会議所 第31代会頭
- 2018年4月 代表取締役会長兼社長CEO
- 2023年4月 代表取締役会長 グループCEO（現任）

座右の銘： 「意あらば通ず」
好きなこと： 読書、スポーツ観戦、阪神タイガース

2

シスメックスの紹介

会社概要

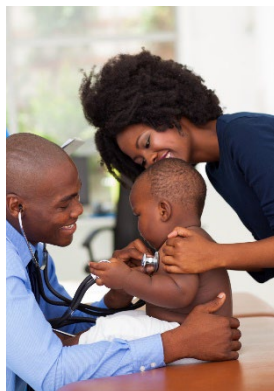


本社	神戸市中央区
設立	1968年（昭和43年）2月20日
資本金	14,282 百万円
連結売上高	410,502 百万円
関係会社数	77社（国内：11社、海外：66社）
従業員数	10,522名（国内：4,073名、海外：6,449名） ※嘱託・パートタイマーなどを含む
事業内容	臨床検査（血液・尿などの検査）機器、検査用試薬、 ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
社名の由来	SYStematical MEdics + X

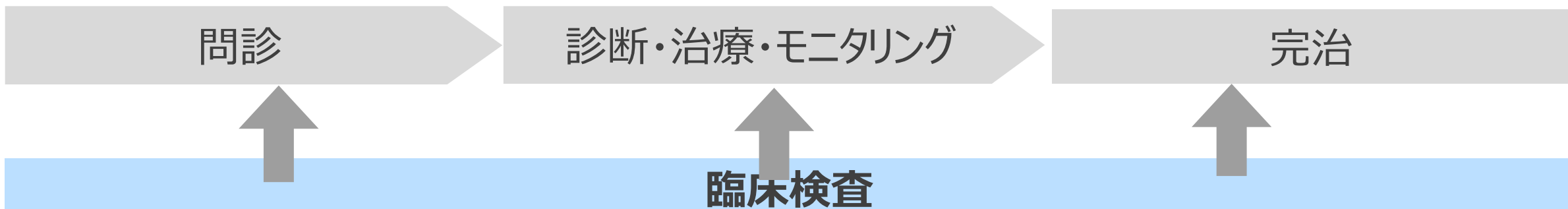
（2023年3月末現在）

Together for a better healthcare journey

より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。



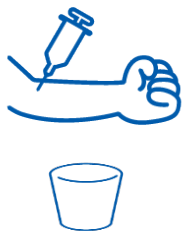
主な事業領域 ～医療を支える検体検査～



検体検査 (検体を採って調べる検査)

ダイアグノスティクス事業

- 血球計数検査 (ヘマトロジー)
- 血液凝固検査
- 尿検査
- 免疫検査
- 生化学検査
- 遺伝子検査



生体検査 (身体を直接調べる検査)

- 画像診断
- 心電図測定
- 呼吸機能検査
- 脳波検査
- 超音波検査

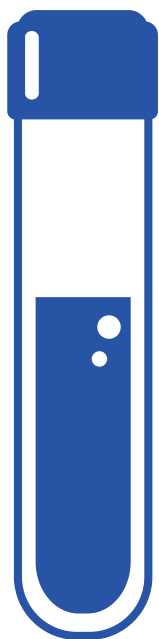


シスメックスは検査を通じて皆さんの健康をサポートしています

検体検査の種類

検体検査にはさまざまな種類があります。
これらの検査を通じて、患者さん一人ひとりの体の情報を細かく把握することができます。

検体検査



*関連する疾患の例



ヘマトロジー

*貧血、白血病、
血小板減少症など



血液凝固検査

*血友病、心筋梗塞、
脳梗塞など



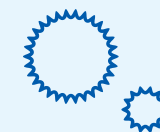
生化学検査

*糖尿病、動脈硬化、
肝機能障害、腎機能障害など



尿検査

*尿路結石、腎臓病、
糖尿病など



免疫検査

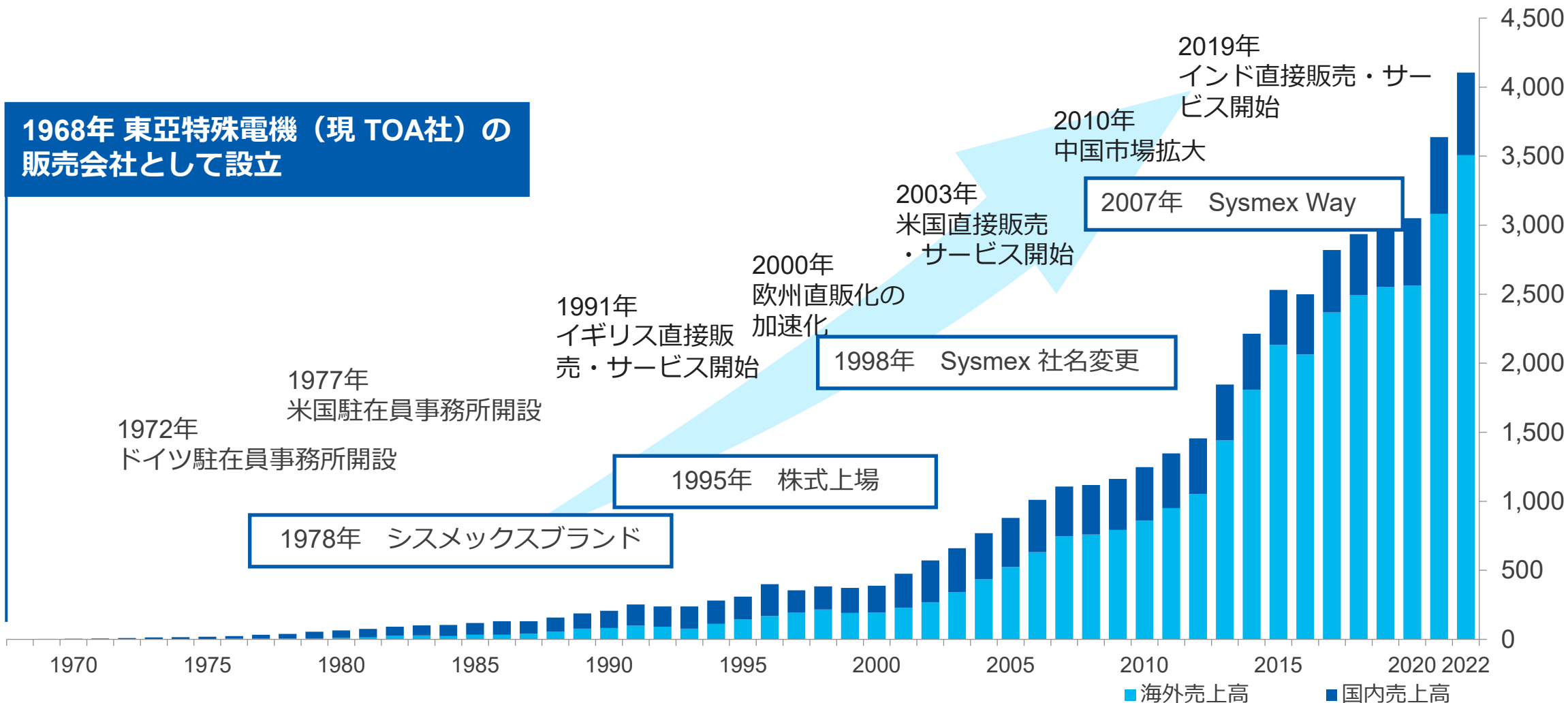
*感染症、甲状腺疾患、
肝炎、アトピーなど



遺伝子検査

*乳がん、肺がん、大腸がん
など

シスメックスの歴史



シスメックスの現在

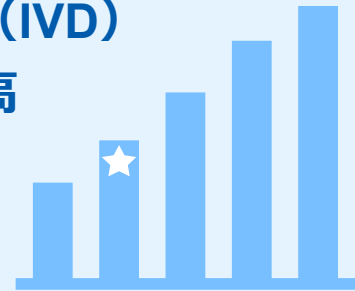
ヘマトロジー分野
グローバルシェア

No.1



世界におけるシスメックスの
ヘマトロジーシェアは
50%以上

検体検査 (IVD)
事業売上高



世界 No.10

※2022年開示情報に基づく当社推定

製品輸出先の国・地域



190以上

グループ従業員数



10,522人

2023年3月末現在

※嘱託・パートタイマーなどを含む

海外売上高比率

85.4%

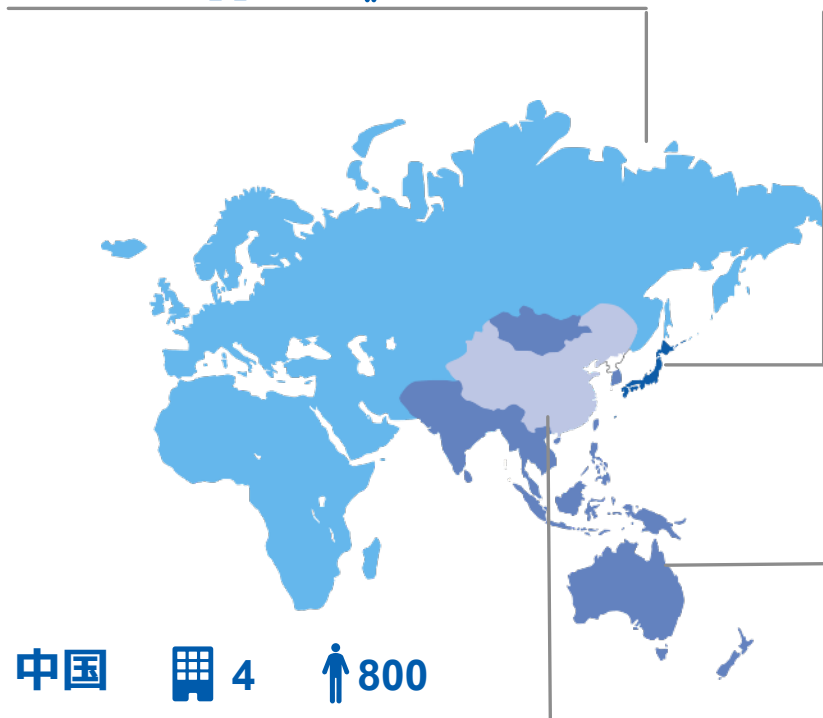


2023年3月期

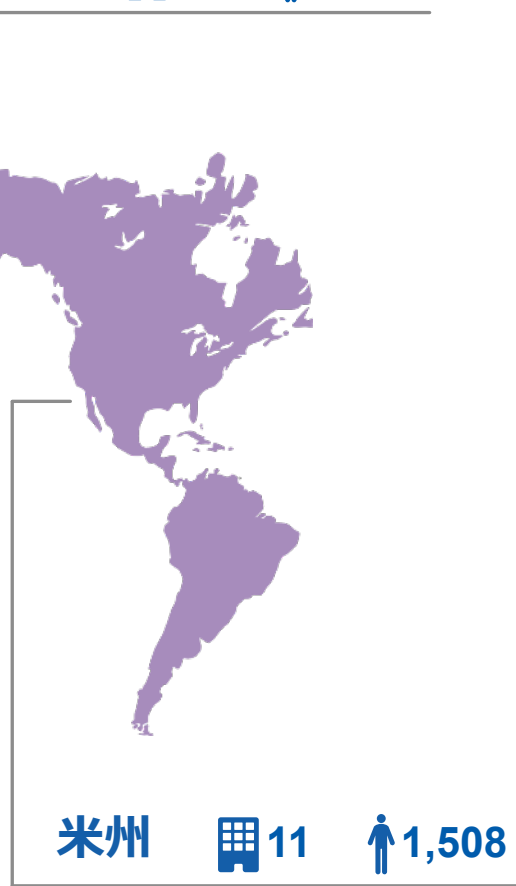
グローバルネットワーク

EMEA  39  3,057

日本  12  4,073



アジア・パシフィック  12  1,084



関係会社数
77社



連結従業員数
10,522人



研究開発拠点
9カ国24拠点



機器生産拠点
国内中心に8拠点
* 中国など地域特有スキームにも対応



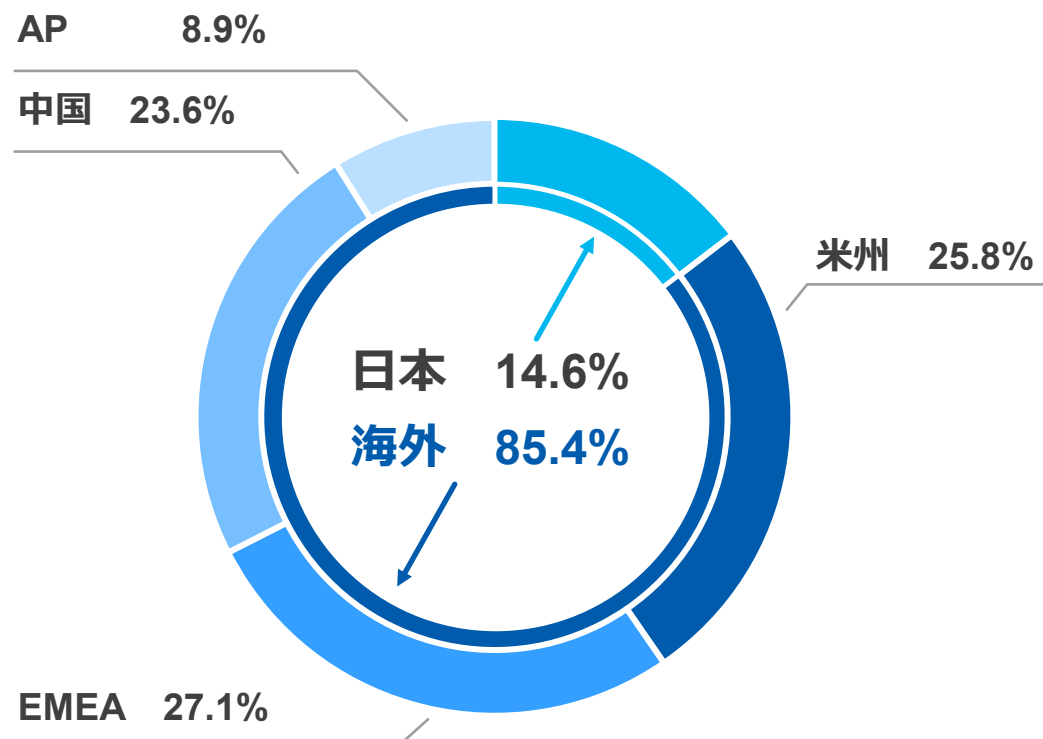
試薬生産拠点
10カ国14拠点



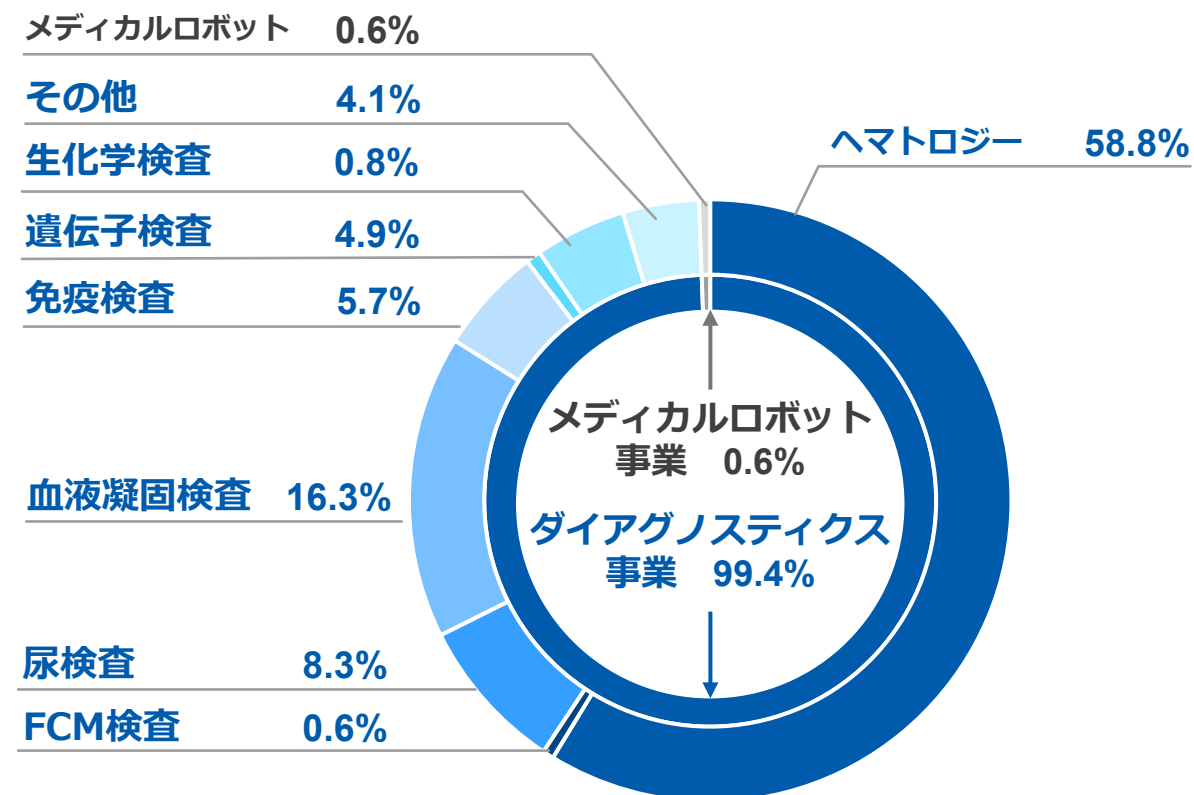
販売・サービス拠点
44カ国62拠点

2023年3月期 連結売上高 **4,105億円**

地域別売上高構成比



事業別売上高構成比



ビジネスモデル



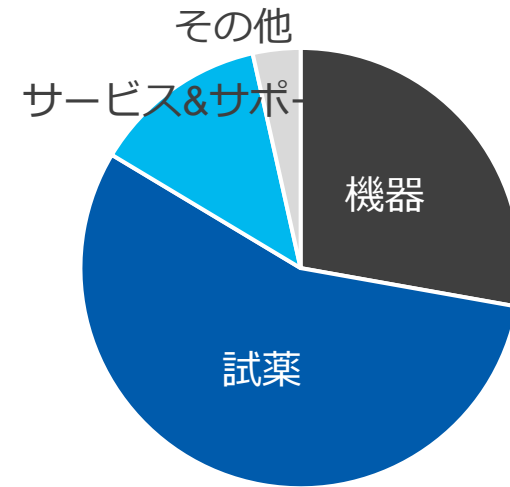
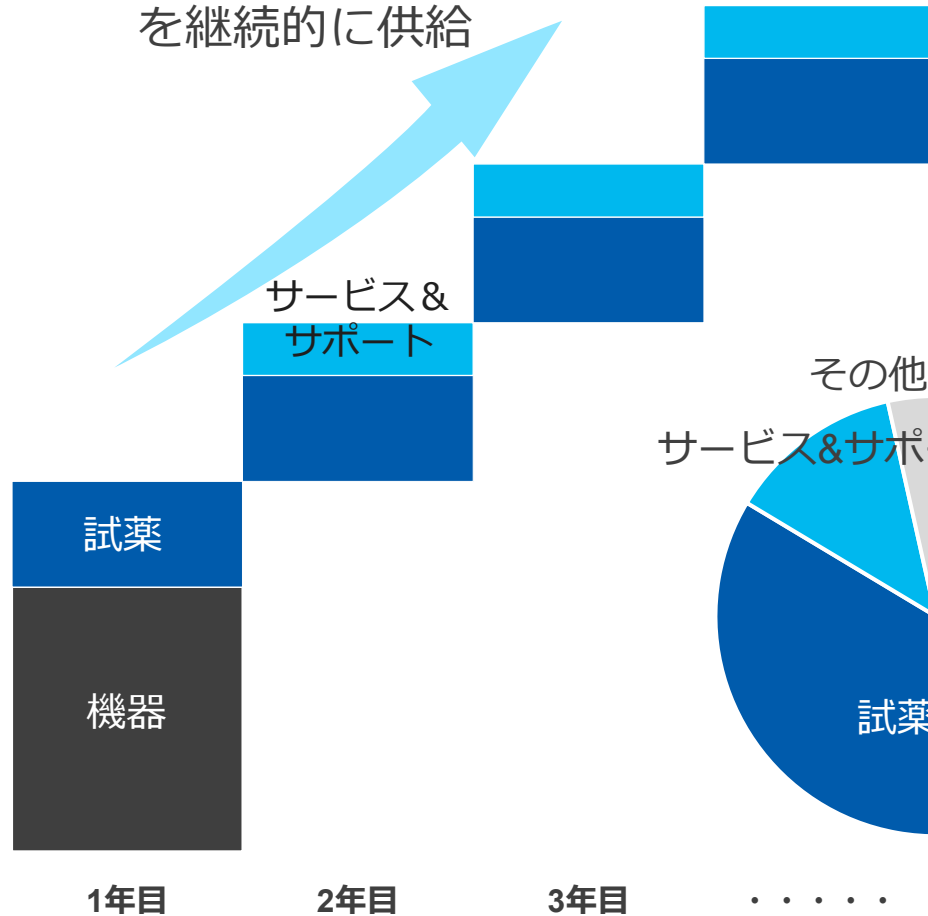
+



+



自社製の試薬とサービス&サポートを継続的に供給



合計売上高

安定的な収益が得られるビジネスモデル

期待に応えるための一貫した体制

責任を持ち、安心を提供する体制



研究・開発



生産



販売



サービス



グローバルネットワーク

機器



試薬



ソリューション



世界70億人以上の人々
<健康寿命の延伸>

- ◆ 疾患の早期発見
- ◆ 個別化医療
- ◆ 医療アクセスの向上

社会

- ◆ 医療費の最適化
- ◆ サプライヤーとの協業
- ◆ 従業員の雇用 等

環境

- ◆ CO2排出
- ◆ 水消費
- ◆ 電力使用
- ◆ 動物由来原材料の使用等

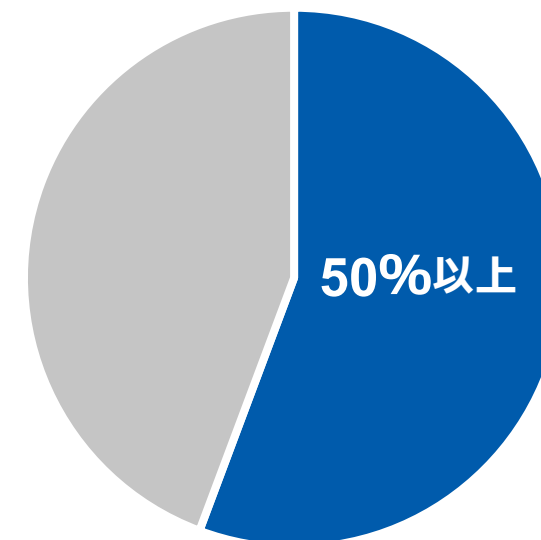
検体検査事業領域

売上高 **Top 10** ※

1	Roche	
2	Abbott	
3	Danaher	
4	Siemens Healthineers	
5	Thermo Fisher Scientific	
6	Becton Dickinson	
7	QuidelOrtho	
8	bioMérieux	
9	Hologic	
10	Sysmex	

ヘマトロジー分野

グローバルシェア **No.1** ※

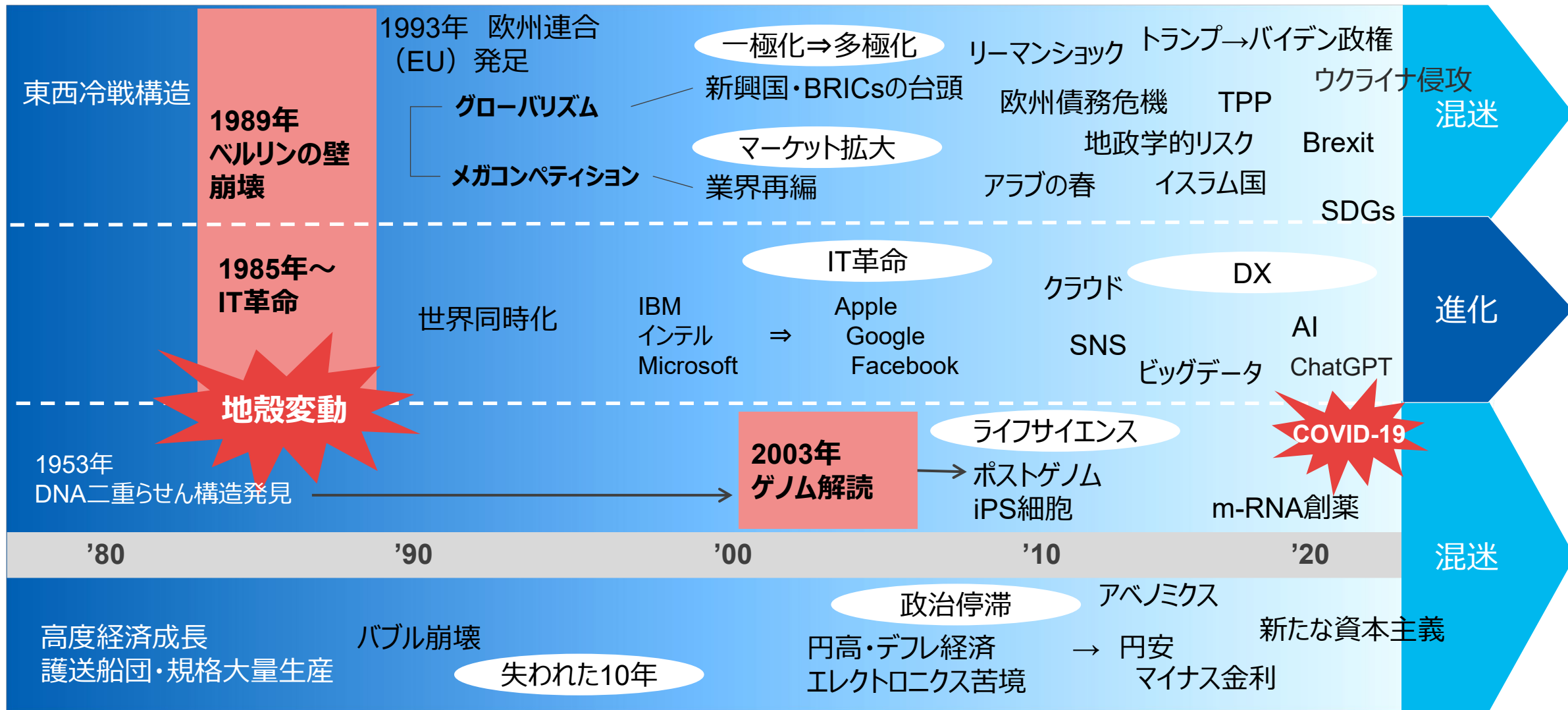


※2022年度の開示情報にもとづく当社推定

3

大切にしてきたこと

環境変化の先を読む





高度経済成長期・
国民皆保険制度
健康需要の高まりによる
検体数の増加

検査の自動化・
普及促進

医療費の高騰・AIDSなど
感染症の脅威
効率的かつ安全性の高い
検査室運営の必要性

検査室オペレーションの
生産性・安全性向上支援

医療のグローバル化・
IT化の進展
検査のデジタル化
ニーズの高まり

検査機器への
ネットワーク
ソリューション導入

技術革新の
医療への応用
精密医療、
個別化医療の進展

価値の高い
検査・診断技術
の創出

1963
国内初の自動血球計数装置
「CC-1001」の実用化に成功



1967
検査試薬の提供開始

1978
第一回血液学セミナーを開催 (後に学術セミナーに発展)

1990
世界初のヘマトロジー
搬送システム販売開始



1999
ネットワークサービスの
提供開始



2013~2014
個別化診断技術の拡充
(M&A・資本提携の推進)



時代を先読みし、検査ニーズに先手を打つ

直接販売体制への変革の

1980年代

1990年代

2000年代

東西冷戦構造

EU発足・
ユーロ導入

BRICsの台頭

新興国
経済成長

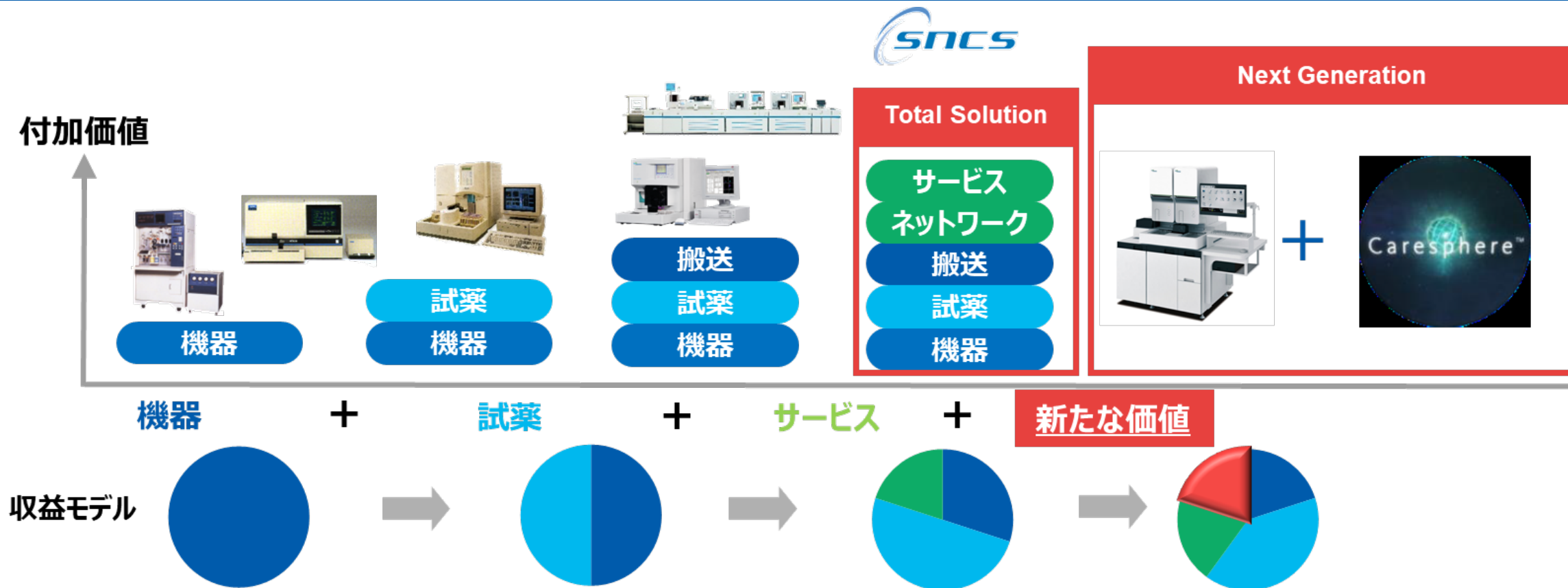
欧米現法設立
代理店販売

UK直販移行
代理店M&A

アジアフォーカス

東欧、中東、
アフリカ、中南米、
インド、拠点

環境変化・ニーズを読み新たなモデルを創造する



機器 + 試薬 + サービス + ソリューション + α

壊れない・正確・安全は当たり前。顧客のニーズを考える

Made in Japan
へのこだわり

ユーザビリティ
の
追求

顧客ニーズの
探求



モノではなく価値を売る

検査機器は一つのパーツ。トータルに考え価値を提供する

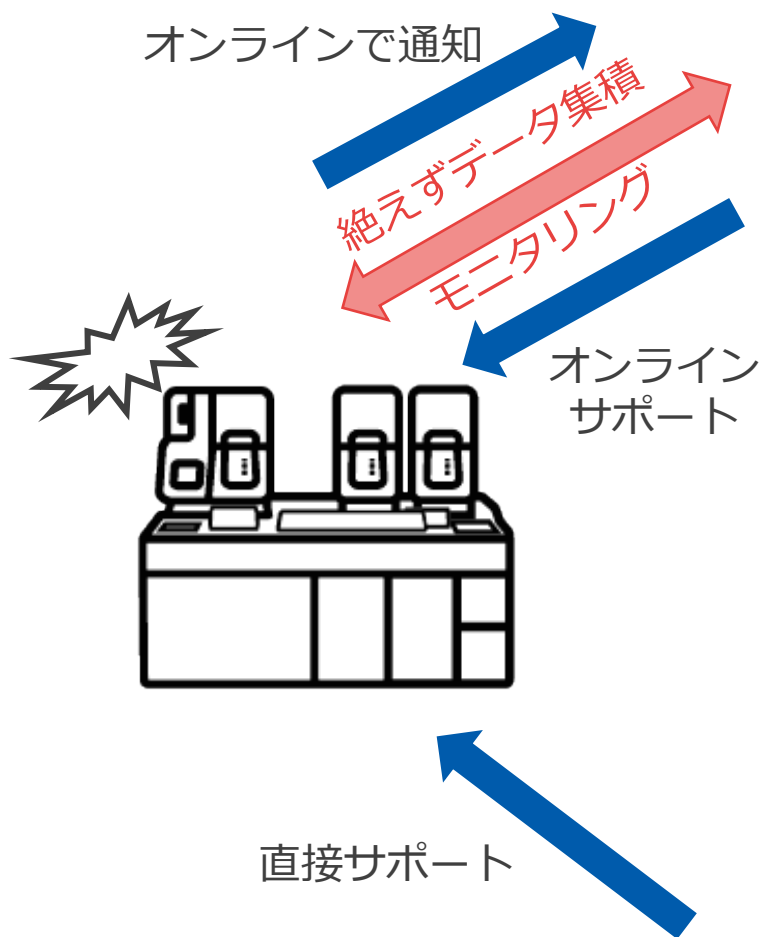


お客様にとって・・・ 効率性、操作性は良いか？

省人化、コストダウンになっているか？

快適で安全な空間になっているか？

安心をお届けするサービス&サポート



医療現場でのダウンタイム (機械の故障時間)を 最小限にする仕組み

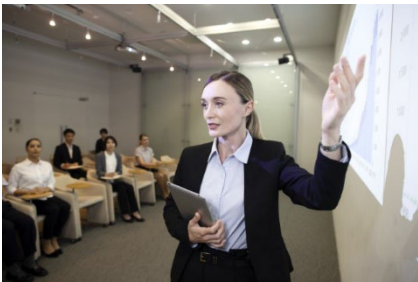
- 世界中の装置をネットワークで接続
 - 24時間、365日モニタリング
- 装置の状態を把握し、故障予知、故障原因解明に活用
- 遠隔地からのサポートを実現

多様性を認め、日本を持ち込まない

ライフスタイル



女性活躍



本社地区への外国人
採用拡大



日本人をTOPに据えない

食文化



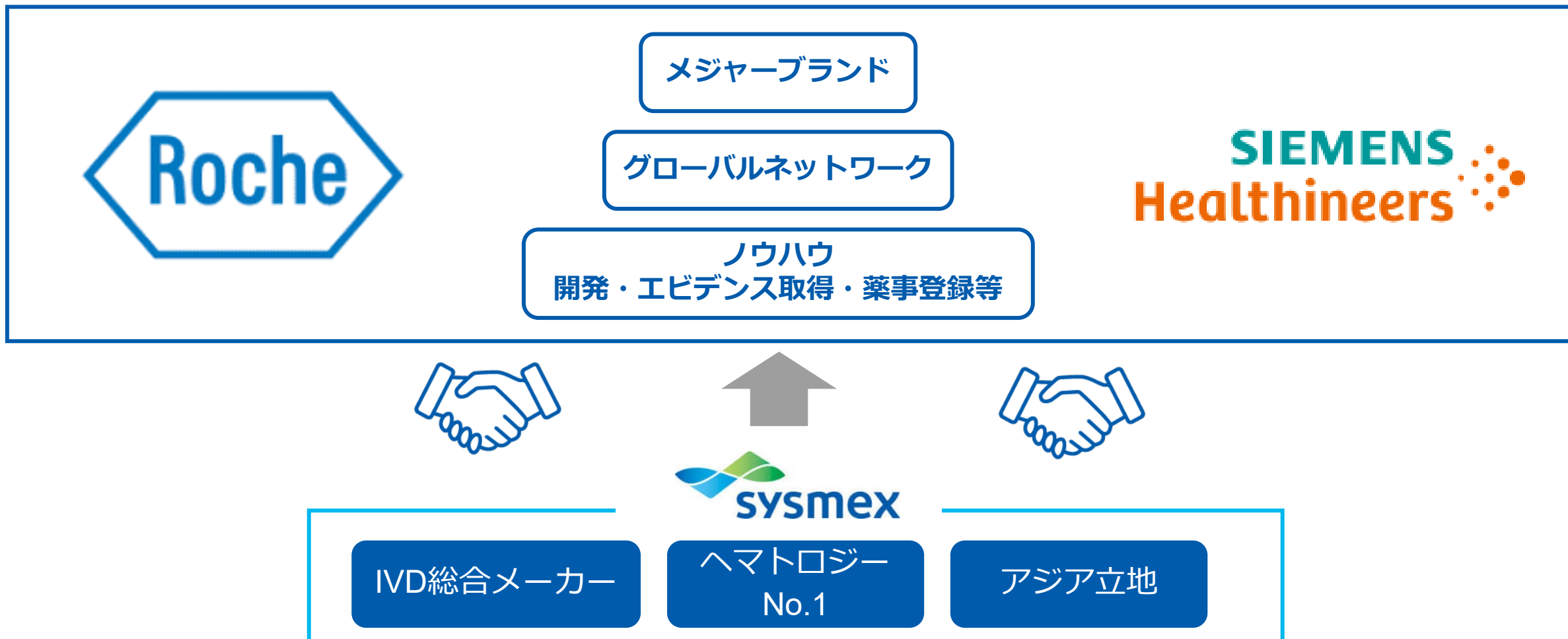
宗教



現地メンバー中心の
ビジネス展開

グローバルメジャーとのアライアンス

国際的地位の向上とノウハウの吸収



4

更なる挑戦

すでに起こった未来

市場環境の変化



COVID-19の感染拡大



高齢化の進展
(先進国)



人口増加、経済成長
(新興国)



地政学的リスクの高まり



社会課題の解決

技術革新



ゲノム・再生医療



mRNA創薬



Brain-machine
Interface



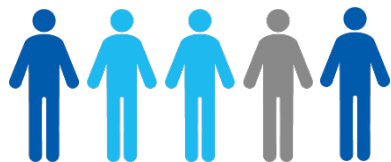
AI・ビッグデータ



ロボット、VR技術

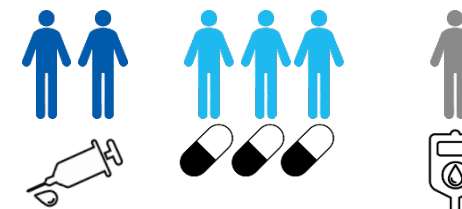
イノベーションは固定概念を覆し、より最適な方向へ

あまねく医療



個別最適

個別化医療



高コスト、侵襲性



負担の軽減

コスト・侵襲性の低減、モニタリング



非生産性、高リスク



生産性の向上

オートメーション化・遠隔対応



アルツハイマー病への取組み①

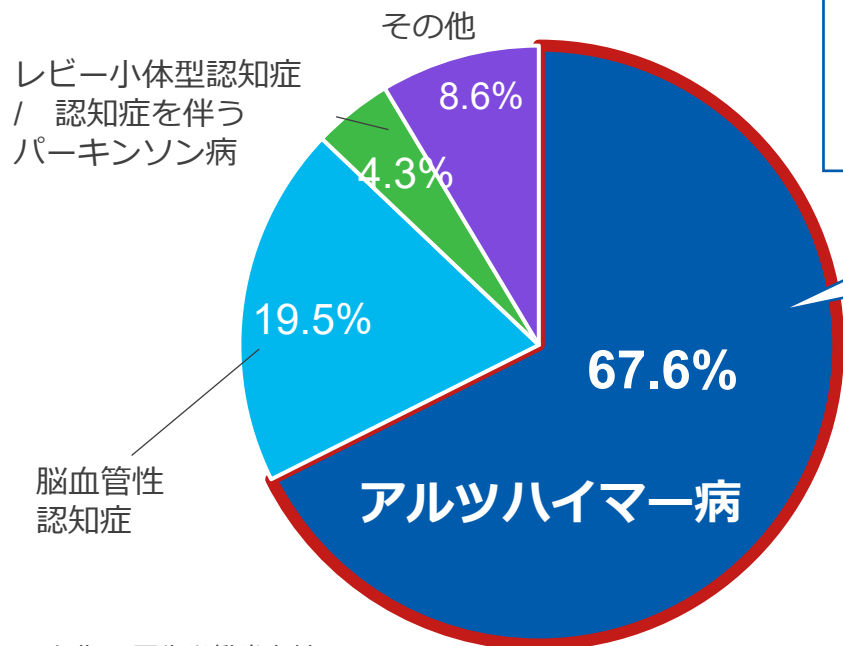
認知症の医療提供は、世界的な高齢化に伴い健康寿命の延伸に繋がる

2023年 5,500万人

2050年 *1億3,000万人

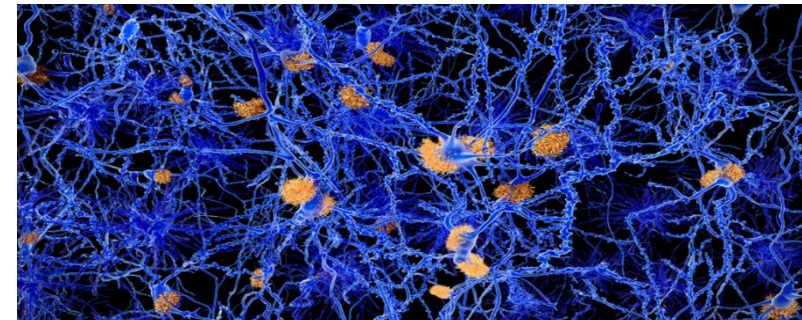
*出典 World Health Organization

* 認知症の病型の割合



- ・アルツハイマー病は認知症の病型の**6割以上**を占める。
- ・神経細胞に障害を与えるアミロイドβを**早期に発見**する必要がある。

脳内のアミロイドβタンパク質の蓄積



*出典 厚生労働省老健局

アルツハイマー病への取組み②



血液中のアミロイドβを測定する検査試薬を日本で発売 2023.6



β-アミロイドキット



全自動免疫測定装置



アルツハイマー病治療薬
レカネバブのFDA承認取得
2023.7



LEQEMBI

痛くて高い検査

現在

検査・診断



治療



血液検査で可能！！
早期発見、患者負担軽減

近い将来

検査・診断



治療（悪性化の予防）



外科領域への挑戦①



オペレーションユニット



サージョンコックピット

「人の代わり」ではなく、「人に仕え、人を支える」様々なロボットの提供

今後の事業展望と開発計画



グローバルヘルスへの貢献（1人でも多くの命を救うために）



現地の医療課題と向き合う



人材の育成



当社装置を使い、蔓延するマラリア感染の早期発見

現地の自立と医療水準向上がサステナビリティにつながる

トレーニングセンターや
オンライントレーニングを
通じて、
医療人材の継続的な育成

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



5

最後に

応援をよろしくお願いします！

壺井 達也 ・ 三原 舞依 ・ 坂本 花織



©Shutterz



©Shutterz



©Shutterz

Together for a better
healthcare journey